

喜びなき街 (1925)

DIE FREUDLOSE GASSE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ドイツ

色彩 B&W

時間 80分

初公開日 1928/09

公開情報 劇場公開

【解説】

パブストの出世作であると同時に大女優ガルボの初期主演作として記憶されるべき、独サイレント期のリアリズムの傑作。第一次大戦後の超インフレで食べる物にも困る庶民生活を生々しく描く。冒頭からして肉屋の行列。その主人ヨゼフ（W・クラウス）は貧者には僅かしか売らず、高級サロンに高値で卸している。列の中に二人の美しい少女。グレーテ（ガルボ）はタイピストとして働き、官吏を辞めた退職金で相場でひとやま当てようという父と二人暮らし。しかし、株は大暴落。財産を失い、社長のセクハラに泣いて会社を辞めた彼女にはサロンの女となるほか道は残されていなかったが、部屋を貸したアメリカ赤十字の青年デイブに紆余曲折の後救われる。が、一方のマリア（ニールセン）はプレイボーイの恋人エゴンに有閑マダム的情事の相手がいることを知る。そして夫人は殺害され、犯人はエゴンとされたが、真犯人はマリアだった……。凶行の衝撃で抜け殻になって街をさまよう彼女はやがて我に返って自首を決意する。その夜、蜂起した民衆は肉屋やサロンに打ち壊しに押し寄せる……。まだ線の細いガルボより、独映画草創期よりの大スター、ニールセンの圧倒的熱演が光る。

【クレジット】

監督	G・W・パブスト	G. W. Pabst
出演	グレタ・ガルボ	Greta Garbo
	アスタ・ニールセン	Asta Nielsen
	ヴェルナー・クラウス	Werner Krauss
	ヴァレスカ・ゲルト	
	アグネス・エステルハイジ	
	アイナー・ハンソン	Einar Hanson
	グリゴリ・クマーラ	Gregory Chmara